

2020年3月期第2四半期決算説明会（2019年11月13日開催） 質疑応答 要旨

Q1. 減損損失を計上した豪州 PROGRAMMED 社の立て直しについて

A1. PROGRAMMED 社の Maintenance 事業は安定した収益構造である一方、Staffing（人材派遣）事業の立て直しが急務です。豪州景気が鈍化していることもあり、Staffing 事業収益が下がっていることから、現地のマネージメントを Maintenance と Staffing 両事業に経験豊富なトップに変更し、従来の大手企業中心から、中小規模の企業まで顧客の拡大に注力し、事業戦略の再構築を図ります。

Q2. 「同一労働同一賃金」への対応について

A2. 正社員との待遇差解消のための手当の配慮に関し、現在、顧客企業様に理解を求めているところです。人手不足の労働環境や法律による要請のため、最終的には顧客企業様にご理解いただけると考えています。「同一労働同一賃金」対応は、中長期的には、コストの観点から派遣市場の拡大につながると考えており、また有期雇用の待遇改善につながることは派遣スタッフにとっても有益と考えています。

Q3. リクルーティングセグメントの人材紹介事業の成長率が鈍化しているが、その理由と回復のタイミングは？

A3. 転職市場の環境は大きく変わっておらず、概ね高い需要を継続しています。市場の成長に合わせ、当社はコンサルタントを積極的に雇用してきたことに加え、サービスを終了する「an」事業のスタッフのシフトを合わせた人員増を戦力化するためには、教育にある程度の時間が必要であり、生産性が再び向上するまでには、最低でも半年程度はかかるとみています。

以上